

有限会社川口納豆 国際規格グローバルGAP認証取得

～川口納豆は、進化します。～

この度、有限会社川口納豆（本社：宮城県栗原市、代表取締役：門傳 英慈 以下、川口納豆）は、世界の農産物流通でその取得の必要性が求められる国際的農産物の安全管理規格『グローバルGAP』の認証を、自社で生産しております農産物（野菜類）で取得しましたので、ここにお知らせいたします。

私ども川口納豆は、農産物の安全性を確保するため、様々な取り組みを進めて参りましたが、農産物の安全管理のあり方を旧来の考え方からさらに進化させ、客観的視点を入れて、より信用いただける内容とすべく、そして国際的にも通用するものを目指すべく、国際認証グローバルGAPの認証取得に至りました。

今回のグローバルGAPの認証取得においては、株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本 武）の協力のもと、約半年近くの準備を経て取り組んで参りました。私達は、国内農業の新たな形づくりの光明として、そして、世界にチャレンジできる日本農業の新たな姿と次世代を担う地域農業者の範となる農業を実現して参ります。

これからは、世界に通用する農産物の安全管理のもと、お取引先様をはじめ、多くの消費者の皆様に信頼いただけるよう努めて参ります。

今後とも、変わらぬご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

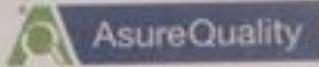
有限会社川口納豆
代表取締役 門傳 英慈

〒 987-2306

宮城県栗原市一迫嶋体小原10

Tel: 0228-54-2536 Fax: 0228-54-2268

URL: <http://www.kawaguchi-natto.co.jp/index.html>



This is to Certify

Farm Alliance Kawaguchi-Natto Co., Ltd

有限会社 川口納豆

10 Shimataiobara, Ichihasama, Kurihara-shi, Miyagi-ken, 987-2306, Japan
〒987-2306 宮城県栗原市一迫字鳩林小原10

Has been found to be compliant in accordance with the standard:



GLOBALG.A.P. General Regulations Version 4.0-2_Mar2013
GLOBALG.A.P. IFA Control Points & Compliance
Criteria - Fruit & Vegetables Version 4.0-2_Mar2013 | Option 1

As declared by the Certification Body (AsureQuality Limited) for the production of the products mentioned on this certificate.

At the following locations 10 Shimataiobara, Ichihasama, Kurihara-shi, Miyagi-ken, 987-2306, Japan

Product	GLOBALG.A.P. Certificate Number	Produce Handling	Country of Destination
Brassica spp. (Tsubomina) つぼみ菜	00034-HKTLF-0002	Yes	Includes Japan
Edible Chrysanthemum (Shungiku) 春菊	00034-HKTLN-0002	Yes	Includes Japan
Spinach ほうれん草	00034-HKTLK-0002	Yes	Includes Japan

and Produce Handling Facilities

Product(s)	GGN	Facility name and address
Brassica spp. (Tsubomina) つぼみ菜 Edible Chrysanthemum (Shungiku) 春菊 Spinach ほうれん草	4052852776066	Farm Alliance Kawaguchi-Natto Co., Ltd. 10 Shimataiobara, Ichihasama, Kurihara-shi, Miyagi-ken, 987-2306, Japan.

GGN:
AsureQuality Limited Registration No:
Date of Certification:
Valid from:
Valid to:

4052852776066
AsureQuality G0496
04 July 2014
04 July 2014
03 July 2015

Authorised by

John McKay
Chief Executive

Date of issue: 07/07/2014

The actual status of this certification is always displayed at <https://database.globalgap.org/search>

JAS-ANZ



【国際規格グローバルGAPとは】

グローバルGAPは、欧州を中心に世界100カ国以上で実践されているGAP（Good Agricultural Practice：適正農業規範）の世界標準です。グローバルGAPでは、農業生産・取り扱いにおける農産物の安全管理手法や労働安全、持続可能な農業を行なうための環境保全型農業実践のためのチェック項目が具体的に定められています。農産物の世界的な流通においては、もはやグローバルGAPの認定取得が取引条件となっており、サプライヤーとして「選ばれる」ための必須要件として求められています。

グローバルGAPは2011年に改訂され、農産物の集出荷・選果場の管理範囲が審査の必須要件となり、農場から出荷までを網羅したサプライチェーン全体におけるマネジメントシステムを評価する事により食品安全リスクを包括的に担保するようになりました。

欧米の小売業では、事業リスクを最小化することが標準的な動きとなっています。特に、小売業売上高世界ランキングのトップ10にあるような小売業量販店は、国際的な認証規格（例：グローバルGAP等）を取得しているサプライヤーや農業生産者からの仕入を優先しており、自らの販売チャンネルにおいては、国際的、客観的評価に準じたリスク・マネジメントを行っていない農産物の取り扱いを排除はじめています。欧米への農産物輸出においてはもちろん、アジアマーケットにおいても取引条件となりつつあり、アジア各国に展開する欧米系資本のスーパーマーケットでは、グローバルGAP取得の農業者の農産物が優先取引の条件となっています。今後の日本産農産物の輸出を占う上で極めて重要性が高まっています。

日本での認証取得実績は未だ少なく、規模だけでなく、農産物の安全管理も途上段階であり、中国、韓国、東南アジア諸国と比較しても、日本におけるこの分野での取り組みが期待されています。

グローバルGAPに関するお問い合わせ

株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント

担当：松本、数納

電話：03-3265-5090